

休日における部活動地域移行アンケート（保護者）



期間：2023年7月～8月

対象：村内中学1～3年生保護者

回答数：340名

※本アンケート調査による検証結果（1～4）を記載しております。各調査結果、調査項目の詳細については
部活動地域移行に関する調査（保護者）をご確認ください。

検証1：家庭の状況

- 結果のまとめ
 - ・専門性や競技性の高い文化・スポーツ活動、楽しんで行う文化・スポーツ活動ともに**3割**いる。
 - ・**8割弱**の生徒が部活動に加入している。

→部活に加入している生徒が多い。

- 考察
幅広い部活動の種目が必要である。



検証2：保護者の要望

- 結果のまとめ
 - ・**68,3%**の保護者が**目標に向かって、やり抜く力**を望んでいる。
 - ・**8割強**の保護者が現在の部活動に**満足**している。
 - ・友達や先輩・後輩との**円滑な関わり**を望んでいる。
 - ・**17,5%**の保護者は技術や体力の向上を望んでいる。

→技術指導以上に、人間関係や目標を持って最後まで続けて欲しい。

- 考察
競技、競争ではなく、中学生という成長過程に沿った部活動を続けていく必要がある。

検証3：保護者の関わり

- 結果のまとめ
 - ・**4割**の保護者が部活動の地域移行について**よく知らない**。
 - ・**2割**の保護者は部活動への**負担ができない**。
 - ・**3割強**の保護者が部活動のサポーターとして**関わりを持ちたがっている**。
 - ・**複数の指導者**で負担軽減を望んでいる。

→3割強の保護者が部活動との関わりを望んでいる。

- 考察
地域移行への周知活動を継続し、保護者が関われる体制づくりが必要である。

